

## 若者等活動拠点施設に係る下二之町(1班)との意見交換会 結果報告

日時 平成30年12月3日(月) 19:00～20:15

場所 まちひとつら座かんかこかん 2階 和室

出席者 下二之町1班住民 12名、高山市 企画課2名、建築住宅課3名、文化財課 1名

内容

### 1.企画課長あいさつ

前回(7/31)意見交換の後、地域住民との複数回の現地確認、景観町並保存連合会への意見聴取、パブリックコメントなどを進めてきた

基本設計(案)への意見をいただき、来週の公募市民検討会で議論していきたい

### 2.資料等の説明

以前に地域から話があがった、表具師からの紙床と障子に関する意見をもらったため、資料に基づき報告  
地域から要望のあった、工事中の高山祭前後の休工・足場撤去の想定について提示

建築住宅課より、図面等に基づき、ポイントを説明(主屋、まゆ倉庫、土蔵、トイレ、耐震補強、防音、植栽、工程表)

### 3.意見交換 ○:地域の方、→:市職員

[高山祭関係]

○来年度の高山祭期間中は使用できないということか。当番飾りはできるのか？

→ミセ(当番飾りをする部屋)については、開放することを想定している

○まゆ倉庫に提灯などを置けないか。夜に雨が降り出した時にミセ以外使えないのでは困る。交換用の幕を置いておく場所がない。屋台本体は屋台蔵で保管するが、その他の祭道具を置く場所が必要。市で場所を確保してほしい

→旧村田邸内部は、工事用資材を置いたり、畳や床板を剥がしたりしている状況が想定され、貴重な祭道具を置く  
と棄損等の可能性もあるため、避けた方が良く考えている

○全くスペースが無い訳ではないと考えるため、相談にのってもらいたい

→施工業者が対応可能かという点も大きいので、施工業者が決まった後に協議することとしたい

○休工期間はどれ位か？

→1週間程度を考えている

○勤め人もあるため1週間前の土日に準備し、10/11に片付けるのが通例だが、天気によっては、前後の週末とする場合もある。最低でも9月末の土日から2週間、可能ならば祭の前後2週間休工としてほしい

→工期が確保できなくなり、入札が不落になってしまつては困るため1か月間の休工は考えられない

○足場を組むのは、側溝の上より内側で収まるか、道路まではみ出すか？

→道路上空に庇が出ていることも考えられるため、道路に出ることも想定される

- 準備の際、屋台蔵から出した屋台を隣の駐車場へ一時移動するための転回時、道路際まで空間を要する。前庭部分から北側の足場だけでも外してもらいたい
- 休工期間とも合わせ施工業者との協議が必要なため、業者が決まってから、市と業者、地域の3者で協議することとしたい
- 完成後、高山祭の期間はこれまでどおり道具が置けないと祭ができなくて困る。屋台組の地域に入ってくるのだから、市も祭に協力してくれないとおかしい

[整備内容関係]

- 屋根の軒先には融雪ヒーターを設置するのか？
- 大屋根は道路側、中庭側いずれも設置予定。道路側には、周辺の町屋と同様の板止めを設置
- 物置と記載の土蔵前の柱は撤去するのか？
- 土蔵の扉が開閉でき、明るくなるよう部分的に屋根・柱を無くす計画
- 井戸は使うのか？ディスプレイとするならば空気穴を設けるなど適切に対応してほしい
- 散水程度の使用を考えている。井戸水検査では井戸2つとも正常値であった
- 土蔵と主屋・まゆ倉庫の間(トイレや庭の部分)は土間か？
- そのように考えている
- まゆ倉庫の床はどうなるのか？
- キャスター付きの机等を動かせるように、叩き土間などではなく、フラットな石貼りなどを想定
- 主屋の土壁はどうなるのか？
- 現在の土壁はそのままとし、最低限の補修を考えている
- 耐震性を確保するため、壁板を横に貼るといった話があったが、どうなったか？
- 縦貼りまたは、漆喰塗りとし、横貼りは行わない
- 土蔵の西側の側溝は、手を加えるのか？
- 確認したところ健全で問題ないと判断したため、本工事での改修予定はない。土蔵の際に立つ塀は補修する
- 北の土蔵入口にあるムロはどうするのか？
- 今後調整だが、自由に開閉できる状態も、防犯上などどうかと考える
- 50数名が利用できる施設に12台の自転車ラックで足りるのか？
- 仮に50台も置けるとなると非常に大きなスペースを要するので、運用で対応する
- 土蔵の物置には、どのようにアプローチするのか？
- まゆ倉庫の扉から通り土間を抜けて直進による
- まゆ倉庫の外観や大扉はどうなるのか？
- 大きな外観の変更はないが、伝建地区にふさわしく補修するなど考えたい
- 本座敷の雨戸の戸袋が採光のため開く、茶室の縁側の柱が1本外せる、そのような部分はどうするのか？
- 新たに分かってくることについては、有識者や地元の方を含めて考えていきたい
- 建物の文化財的な調査がまだ終わっていないと思うが、そのことも十分考慮していただきたい
- 調査そのものについては、概ね終了しており、報告書をまとめているところ
- 厳密な設計図書ができてくるのはいつ頃か？
- 来年1月末頃から3月末にかけて調整して固めていく

[その他]

○公募市民による検討会は、今後も続けていくのか？

→基本設計や実施設計にあたり意見を伺うほか、運営方法などについて議論していきたい

○完成後、高山祭の際は、これまでと同様に地元で使えるのか。検討会で反対されると使用できなくなるのか？

→地域の伝統文化を保存継承し人々に伝えていくことも整備目的の柱としている。検討会は議論の場なので、最終的には施設管理者として市が判断する。地域としても、例えば練習風景を公開いただくなど、できる限りの協力をいただきたい

○通常の練習を外から見たり聞いたりすることは良いが、室内に入ってまでの見学はされたくない。観光客のために公開するのか？

→高山市の子ども達を含め、地域の魅力を人々に伝えるためと考えている

○鳩峯車組の子ども達の演奏の発表会など、イベント的な公開であれば考えられる

→オープンとする部分を考えてもらいたい

○主屋の2階に、何か物を置くことはできるのか？電気は点くのか？一般の人は入るのか？

→重いものでなければ、協議による。電気は点き、全体に補修しきれいにする。一般の方は立入禁止の想定

○冬期間は、暖房費が高いと考えるが大会議室は使用できるのか？

→大会議室、土蔵は空調を入れ、通年で使用できるように考えている

○主屋は、(耐震性が確保されていないため、)表立っては使わないということか？

→積極的には使用せず、できる範囲とすることを想定している

○次回の検討会では、どのような説明をするのか？

→本日と同様に考えている

以上